

心耕

心 耕 心 耕

イベントス・イベントス 近頃
よく聞く何か言葉 知らる

カニザンス・カニザンスもてくるぞ

今月の行事

諸々の行事

休みます

休まずにやるのは

十六日(日) 朝八時から

草刈り

毎朝六時半からの

御晨朝 だけです

御晨朝

昭和四年生まれ、九十二才の義
母が、御晨朝がすんで朝の光りの
中の景色を眺めて、「どこにコロ

ナがいるんだらつ」とつぶやいた。

キジの声も聞こえてくる春の光
景は総持かななどで、人の世の気
化しなごまごれさせる。

だが、総持かなは、草刈りなど
人の手が入っていることによつて
きたらされているものだ。

手を入らずに野原になつた田畑
が家の周囲を見なければならな
人の気持ち、たまつたものではな

い。
總持かに住める所とさうでない
所が選んだ現代だ。

今年も又、災害の季節が近づくと
一時の總持かなは、思ひ
こくまう。 ナニもなすナニもなす

法座案内

各種ご案内

・愚痴聞き場「あみだぐち」
若手僧侶で愚痴聞き場をラインで設けています。以下からアクセス！



・お朝事

毎朝六時半〜七時、お勤めをしています。日々のお参り、命日などにお参り下さい。

・草取り

例 十六日(日)八時より

・写経会

休み

五月の行事は、新型コロナウイルス対策の為、中止に致します。

法事などは受付をしております。

・壮年会・婦人会主催の勉強会

壮年会 休み 六月は二日

婦人会 休み

・門信徒会費 口座振込について

振込番号です ゆうちよ銀行

西光寺門信徒会 00180-0-713424

会費 年間一万二千元

・花の空ヨガ

しばらくお休みです

・心耕発送者募集！

心耕(月刊西光寺新聞)発送作業をお手伝いいただける方を募集します。

形態…三カ月に一度 主に月初めの平日 時間…一〇時〜一二時 特製ランチ付♪

・西光寺公式アカウントが出来ました

西光寺のライン用アカウントが出来ました。お寺の行事などを配信予定です。

ラインをされている方は、左のQRコードから登録してください。



・新作紙芝居動画配信！

西光寺チャンネルにて、紙芝居「シン・ゲタ」を配信。西光寺チャンネルで検索か、以下からアクセスできます



・感染症対策について

37.5℃以上の発熱、咳が出る方はお参りをお控え下さい。マスク着用、消毒にご協力下さい。法座等の集まる行事では、念の為、氏名をご記入頂く場合があります。

急な予定変更の場合がありますので直接連絡をするか、HPを参考にして下さい

矛盾

この言葉は中国の韓非子という書物にある盾と矛の物語であります。武器を売っている商人が「この矛はなんでも突通す」とまた「この盾は何物も通さない」と口上していたところ、ある客が「その矛でその盾を突いてみる」と言った故事であります。余談ですがこれは日本以外の国でしか考えられない話だと思っております。日本では時代劇や戦国武将の合戦図でも盾が見られないからです。理由は分かりませんが建盾前を表さず、堂々と本音で勝負していたからかもしれません。武士の強さの原因かも。最近では建盾だけで本音が無いのでしょね。

前回の方便も真実ではない言葉や方法でもって真実を顕すという矛盾があります。また私たちの生活の中も矛盾だらけです。矛盾の世界に生きていかねばならないのです。二元または二項の対立の中に置かれていくからです。例えば「私は嘘つきです」と言うとき、この言葉が真であれば嘘つきではないので、間違った発言になります。またこの言葉自体が嘘であるならば、真とは言えない発言になり、何が何だかよくわからなくなります。よく考えてみますと善悪や左右などの二元も自分を中心に置くか相手を中心にするかで意味に変化が生じます。つまり相対的な見方をしなければ生活ができません。絶対的なものの方は出来ないのです。しかし私たちは決めつけたものの方をして、固定絶対観念の中に落ち込んで生きているのが実態です。ヘーゲルはこの矛盾や対立を繰り返す闘争ことによって最終的に絶対真理へと発展するという考えを打ち出しました。しかし闘争は永遠に続くこととなります。ヘーゲルが思考する二元の対立は決して克服できないのです。紙の裏表です。紙でなくてもいいのですが裏が無ければ表も無いのです。内側が無ければ外側もないのです。これも矛盾です。

龍樹菩薩が八不「不生不滅・不常不断・不一不異・不来不去」によつ

浅原才一の詩は鈴木大拙の著書より編集しました

て相対する両者を全て否定するところに中道が成り立つというのです。争うことも統一をすることも無いのです。「そのまんま」が中道なのです。親鸞聖人が自然法爾と言っているのも「そのまんま」なのです。ところが人間はそのまんまに執着します。そのまんまに成る方法を考えた。り教義を作ったりします。右だ左だと争い出すのです。そのまんま中道。右派とそのまんま中道左派が生じて来るのです。執着した時点で既にそのまんまではないのです。表現をしようとした瞬間に矛盾の中に引きづり込まれるのです。デカルトは頭の中で自己を否定していったのですが、考えているが完全否定できず、我ありと自己表現してしまい矛盾の中に戻ってしまったのです。仏教で言えば中途半端だったのです。ヨガ業者のシャンカラは否定に否定を重ね不二の境地、一元に達したのです。無分別です。無我、涅槃、悟り、梵我一如、不退転などなどです。これらはそのまんまの状態を顕しています。完全否定は完全肯定と同じです。しかし私たちは肯定するのは難しく、否定していく方が楽です。心の中に疑いがあるからです。矛盾の中に住んでいる私たちは疑いから逃れられないのです。矛盾の中に生きているという自覚が、「ただ念仏のみぞまことにておわします」に到達するのです。これは「ただ」と「のみ」で強調された一元化なのです。念仏をしている、念仏をするという矛盾から「している」「する」が落ちた「念仏」なのです。これを肯定し矛盾を克服しているのが妙好人です。浅原才一は浄土と娑婆を往来したり南無阿弥陀仏と一体化したりしています。「如来の御姿こそ かかる浅ましき私の姿なり 南無阿弥陀仏」また「私は本に幸せ者 勝手気ままに浄土にまいる あちらと思えばまたこちら・・・南無阿弥陀仏」等々の詩があります。味わい深いものです。矛盾世界の中でお名号十七願にうなずかされうなずき、娑婆も浄土も肯定して気楽に生きていけるお念仏十八願に矛盾私が出遭ったのです。娑婆も地獄も煩惱も矛盾もみんな南無阿弥陀仏のおかげです。

住職多感

去年の春、法事に行った先で若い人から「インパール2020」という言葉を聞いた。インパールというにはインパール作戦のことで太平洋戦争中の日本陸軍の作戦で、愚か極まりない作戦として今に伝えられている。その愚かさを今に繰り返しているとして「インパール2020」といつていたのだが、時の安倍政権のコロナ対応のことだった。

先日インターネットで「インパール2020・2021」という表現を見た。コロナとオリンピックとを併せたもので、嘘と無責任に満ちた一連の事実を挙げているものだった。決して今の新聞に掲載されることはなくテレビにも流れない性質の記事だった。時折ラジオでは話されたりもするのだが報道の影響力としては微々たるものだ。

高校の時の部活の顧問がインパール作戦の生き残りだった。夏のキャンプの時、

私たちのバンガローに入ってきて、「お前たちが反戦といって騒ぐ気持ちはわかる。だがお前たちより深く戦争の酷さを知り、お前たちよりはるかに強く戦争への憎しみがあるのは俺だ」と言っていて遅くまで話してくれた。

指導層が誤ると最前線と末端が一番ひどい目に遇う。このことは幾度も歴史の上で繰り返されてきている。「インパール2020・2021」という言葉はその愚かさか今に繰り返されていることへの警鐘だ。山梨県知事がやつとコロナ対応を優先すべきだとして「オリンピックなどやっている場合か」と発言したがそれに続く報道がない。オリンピックについてはよほど強い規制が敷かれているのだろう。

体育の授業だけはさぼらなかつた。高三の冬までボールを追いかけてまわしていた。そんな私だから思うのだ、政治の出しに使われるスポーツなどまっぴらだ。

ナンマンダブ ナンマンダブ

六月の行事

○十二日 常例法座

はじめの一步

○二十五・二十六・二十七日

永代経法要

○字経念・勉強会 2日

○おみせき 二十四日

○草刈り 十六日 朝八時

○御辰朝 朝六時半

発行

浄土真宗本願寺派 (西)

西光寺

〒二九〇-〇〇二四

千葉県市原市根田

七三三二一

TEL. 0436-22-7412

FAX. 0436-24-1652

HP <http://saikohji.net>

MAIL saikohji@hb.tp1.jp